

ななの

76号

七野会 基本理念

1. 私たちは住み慣れた地域で尊厳をもって「その人らしく」暮らし続けることを支援します。
2. 私たちは全ての人の人権を尊重し、誰もが権利として福祉を享受できる社会をめざします。
3. 私たちは地域の皆さんの力によって設立され発展してきた歴史と伝統を大切にします。
4. 私たちは社会福祉法人であることを誇りとし、その使命と役割を果たします。
5. 私たちは働く職員の生活を守り、専門性を向上させるために努力します。

社会福祉法人 ななの かい 七野会 ● 広報誌

京都市北区大北山長谷町5-36 TEL.075-466-5095
URL ● <http://www.nananokai.com/>

題字・山野千鶴代さん
(ケアハウス リブル北山)

七野会

【買い物の支援】特集



【移動販売】(ケアハウスリブル北山)

私たちが日常的に行っている買い物。

インターネットの普及で形は多様化していますが、さまざまな事情で買い物に行きづらい方がおられます。今号の特集では、七野会で行っている買い物の支援の一部を紹介します。

買い物の支援から見える「利用者さんの思いやこだわり」や「職員の悩み」などに触れていきます。

七野会

【買い物の支援】って…?

移動販売

販売店さんが車に食料品などを載せて事業所を訪問、即席販売所となる移動販売。さまざまな事情で買い物に行きづらい方も、自分で品物を選ぶ事ができ、利用者さんに好評です。



デイサービスセンター北山杉いこいの家



ケアハウスリブル北山



美山こぶしの里デイサービスセンター



利用者さんの反応は？

ケアハウス：コロナで外出しづらくなったなか、週1回の移動販売は、非常に喜んでくださっています。自炊されている方は、パンやお菓子の他、野菜も購入されています。

北山杉：自分の分というより、息子さんに食べさせてあげるためのおかずの材料を購入される方がおられます。また「今回は(購入)なしなの」と販売店の利益の心配をしてくださる方もおられます。



都心部から離れると事情が違う？

美山：自宅から10キロ離れた所でしか買い物ができない方もおられます。やはり「自分で選べる事が一番嬉しい」とおっしゃっています。ただ、買った事を忘れてしまう方もおられるため、管理についてご家族と連携しておく事が大切です。



移動販売は、注文・配達とは違い、自分の目で選ぶ事ができます。その時の欲しい物をその時に選べる。こうした「自己選択」の機会がとても大切だと、利用者さんのごようすから教えていただいています。

また山間地域では、都市部とは違う悩みがあります。地域に合わせた対応を、地域のみなさんと一緒に考える必要があると感じています。

続いては、ホームヘルパーの買い物の支援です。買い物同行（利用者さんとヘルパーと一緒に買い物に行く支援）と、買い物代行（ヘルパーだけが買い物に行く、買い物を代行する支援）があります。介護保険制度が改定されるたびに、時間の制約が強まり、時間内で援助を終えないといけない為に、買い物代行が増加している傾向のようです。ヘルパーだから見える利用者さんの姿や悩みを、聞いてみました。



ヘルパー同行、代行



買い物同行のようすは？

買い物同行の際は「これ美味しそうやなあ」との会話を通して、ご自宅の普段のようすとは違う面を拝見できたり、利用者さんのこだわり、生活歴が垣間見れたり、それぞれ個性が見えて大変興味深いです。



悩む事や難しい事は？

買い物代行では、みなさんそれぞれにこだわりがあるために悩む事も多いです。特に料理をされてきた方は、豚バラ肉なら脂身の多い少ない、バナナなら大きさや本数の指定、玉ねぎはへたが小さいものをなど、満足される買い物代行はなかなか難しいです。

また品物の確認のために店頭からお電話しても、お耳が遠い方もおられるため、頼まれたものがない場合はどうしたら良いか、事前に確認するようにしています。



心掛けて いることは？

きゅうりを頼まれたのにズッキーニを購入してしまったり、無洗米と普通のお米を間違えてしまったりしたことなどがありました。難しさはありますが、買い物代行では、ご自分で見て選べない利用者さんの思いは大切にしたいと考えています。

ヘルパーならではの苦労やエピソードなどを多く聞けました。最後に、ケアマネジャーにもエピソードを聞いてみました。



担当の方で買い物にまつわるエピソードは？

電動カートを使用されている利用者さんがいらっしゃいました。一人での買い物は、陳列品を落としてしまう事もあり、小さいお店は、受け入れに抵抗のある事もありますが、ある店では、通路の品物を除けてくださったり、高い所にある届かない品物をとってくださったりと、ケアマネジャーだけでなく、お店の方が非常に協力的で助かった事がありました。専門職だけでなく、地域の方と一緒に、利用者さんを支えることができました。



買い物一つから、個性やこだわり、金銭感覚などの他、その方が人生のなかで「大切にされてきたこと」が見えてきます。「その人らしい」くらしに触れ、そこから支援を考えていくことがとても大切です。

今回取り上げた買い物の支援は七野会の一部の事業所についてでしたが、他の事業所でも、在宅サービス、施設サービスに限らず、利用者さんのこれまで培ってこられた生活に加え、大切にしてくられた思い、そして利用者さんのできることを大切に、支援しております。

これからもみなさんの生活を守るよう、地域のみなさんと一緒にできることを考えていきたいと思っております。

窓越しに鬼は外

2月節分

節分の日楽しく遊びました！



お手製鬼のモグラ叩き



どの鬼がお気に入りですか？



今から退治されまーす



おやつ作り
どら焼き



ひな祭



四季折々

七野会 冬季の様子を紹介

1月新春の様子



鈴鳴らして初詣



リモートで参拝



書初め



お正月花



福笑い



カルタ大会



笑顔がいっぱい



お節



こま回し



鏡開き



初釜



ある夜、事務所で待機していると緊急コールが鳴りました。オペレーターは緊張しつつも、落ち着いて対応をします。

職員 「はい！どうされましたか？」
 Aさん 「…落ちた…〇△×…起こして…」
 職員 「Aさんが？…どこから落ちたんですか？」
 Aさん 「…落ちたんや…ベッドから…〇△×…そやし起こしてほし…」
 それは大変!! とナイトヘルパー職員が急いで訪問!
 Aさん 「すまんねえ…テレビのリモコンがベッドの下に落ちたし…」
 Aさんでなくて良かった〜!
 落ちたのがリモコンで…
 ホッとひと安心の出来事でした。

落ちたのは…?



新大宮 ナイトヘルパーステーション
 お年寄りのくらはいは笑いや発見がいっぱい!
 その中からとびきりをご紹介



職員

a la carte

あづかぬ



小規模多機能型居宅介護 金閣こぶしの里 吉田 耕太さん

小規模金閣こぶしの里の吉田耕太主任を紹介します。

初めてお会いしたのは2年前に異動で赴任してこられた時でした。その時の第一印象は「上司なのになんと腰の低い方だろう」という驚きでした。個性的な利用者さんや職員（私も？）に囲まれて大丈夫かなあと勝手な心配をしていたのですが、ところがどここいさですが。（同法人介護老人保健施設）ライブリイきぬかけで積まれた多くの経験をさまざまな場面でも示してください、的確な洞察力と判断力で適切に対応され、私たち職員にも指示を出してください。それは上意下達的なものではなく職員への想いにも十分に配慮されていて、そんな吉田さんにはわからないこと、疑問に思ったことも相談しやすいです。ここが一番の魅力ですね。

ご家庭では2児のパパ。お家から職場に電話が入った時にはお子さんの元気な声が電話越しに聞こえてきます。人気者のパパですね。公私に渡って多忙な吉田さん、どうぞお身体を大事になさってくださいね。個性的な職員たちはみんな、吉田さんにとっても助けてもらっています。利用者さんにとっても職員にとっても、ますます楽しい小規模金閣こぶしの里を作って行きましょう！

小規模多機能型居宅介護 金閣こぶしの里 小原誠人 記

*紙面紹介された職員が次号で別の職員の紹介をしてつないでいきます。お楽しみください。

七野会 28日研修について

七野会の研修制度の中で、2022年度から新しく「28日研修」を実施しています。

入職時研修、1年目・2年目研修、そして3年目からは外部研修や他事業所での交換実習などを行ってきましたが、コロナ禍で、対面での研修機会が減り憂慮していました。

そこで、コロナ禍でも研修を受ける機会を得ることでスキルアップとモチベーション維持を図り後輩の指導にもつながるように定期的開催できる研修会を企画し、昨年の6月から実施しています。

目的：福祉・介護について基本的な学びの再確認と継続を目指す

対象：七野会職員ならだれでも

日程と方法：毎月28日 14～15時
オンライン（zoom）形式

内容：福祉・介護にかかわる職員として学んでおくべきこと（表参照）

月日	テーマ	参加数
6/28	コミュニケーションスキル	9
7/28	接遇・マナー	3
8/28	ハラスメント	4
9/28	福祉って何？	15
10/28	記録のスキルアップ	12
11/28	アンガーマネジメント・アサーション	15
12/28	認知症の理解と対応	7
1/28	人権・尊厳	6
2/28	ケアプランと介護過程	10
3/28	メンバーシップ	8

参加者の感想より抜粋

[人権・尊厳]「この研修を受けてみて、利用者さんのことをもっと知ろう、関わろう、求めておられることは何だろうと心がけて援助にあたろうと思った」

[アンガーマネジメント・アサーション]「相手の気持ちを受け止めて、自身の気持ちを伝えることはすごく重要だとより感じた。相手の気持ちを聞いたとしてもそれを『でも』『だから』など自身の気持ちを押し付けたり、気持ちを否定しているとの人間関係はゆっくりと時間をかけて崩れてしまい、雰囲気も悪い方に向いてしまう。お互いに伝え合うことで人間関係は円滑に行われ、場の雰囲気にも良い方に向くと思われる」

参加者はまだまだ少ないですが、伝達研修などを通じて学びの輪が広がっていくことを願っています。（採用教育部）

投稿大募集

ご家族の生の声を聞かせていただくコーナーです。どなたのご意見をおよせください。

家族のひろば

太田清美さん



太田仁さん

夫は約7年前に脳梗塞で倒れ半身麻痺、失語症になりました。自分の思いを伝えようと思っても言葉が発することができず、私たちも本人も戸惑い、困り果てていましたが、伝わった時のうれしそうな笑顔にうれし涙を流す毎日でした。今も私たちが理解できるまで、懸命にウーウー、アーアーと手ぶりも交えて伝え続けてくれて、理解してもらった時の笑顔に家族も頑張っています。

夫は三重県の農家の次男として生まれ、中学校卒業後すぐに京都の西陣織物の帯や着物の図案を描く店に丁稚奉公に入り、厳しい時代を頑張ってきました。その後、不景気やバブル崩壊で店が倒産。想定外の出来事もいろいろありましたが、相当努力して京福電鉄に就職し、車掌や經理の仕事に就き、定年後は八瀬ロープウェイの運転

手もしていました。親が決めた結婚でしたが、優しくて字が上手で気持ちもほだされました。几帳面で気を遣う性分。新聞や雑誌に川柳などを投稿したり、ラジオ番組にリクエストしたり、プライベートも積極的でした。また祭りごとなど賑やかなことが好きで時代祭りなどに参加したり、周りを盛り上げるためにマメに動く人でした。娘が二人いますが子煩悩で優しい父親でした。冗談でややじギャグを言ったり、ウケなくて悔しがったりしていました。娘たちは今も近くに住んでいるので、買い物や仕事帰りに家に寄り食事介助やサービスの送り出しを手伝ってくれています。何かの時にはすぐに来てくれること、それぞれ元気に頑張ってくれていることを心強く思っています。



変です。家族の協力と介護保険サービスを利用するなかで、アドバイスをもらったり、話を聞いてもらうことで、一人で抱え込まなくてもよいと思えるようになり、やっと少し気持ちにゆとりを持てるようになりました。ショートステイ利用中は、私は通院やゆつくり買い物に行けることができ、感謝でいっぱいです。夫にもみなさんから声をかけていただいたりして、生きていることの素晴らしさ・喜びを感じ

原谷ごぶしの里ショートステイ利用者さん 太田仁さんの奥様

じて欲しい思いです。ショートステイで笑顔で写っている写真を本人も喜び、一番の宝物になっています。これからも本人の笑顔が一日でも長く続くことを願っています。

ごぶへえさん by ヒロ



ごぶへえさんのバックナンバーがネットで読めます。「京都の聞き書き絵本」

<http://www.kikigakiehon.com/>

催しのごあんない
情報BOX



JURAKUNOWA

@jurakunowaで検索してみてください。
←ご興味がある方は見に来てくださいね。

生活支援総合センター 聚楽は、今年の2月がInstagram（インスタグラム）を開設しました。堀川こぶしの里デイ、糸屋町デイ、小規模多機能施設 和泉の家、聚楽ヘルパー、居宅介護支援事業所 聚楽の5事業所がそれぞれの日々の取り組みやみなさんの笑顔などの情報を発信しています。

はじめました！

ご利用者が創作された作品を紹介する
ななていぶコーナー



「ななにのするのや」と楽しみにされています。

美山こぶしの里デイサービスセンターでは、毎年「千支の壁掛け」を制作しています。亥の年から始めて、今年で5年目になります。
今年の卯年の壁掛けは、鎖編みの毛糸をボンドで貼っていききましたが、指にボンドが付き、毛糸がうまく貼れなかったようです。特にうさぎが背負っている打ち出の小槌の「福」という文字やうさぎの目を丸くするのが利用者さんでは難しかったようで、職員も協力して制作しました。
凶案は職員が考えており、毎年12月になると、利用者さんから「来年はどんなのにするのや」と楽しみにされています。

すてきな原谷 **みつけた!**



たくさんの桜が見頃をむかえています

編集後記

今号がお手元に届く頃、桜が満開になってきているのではないのでしょうか。今号の編集作業は3カ月前、ちょうど京都が大雪に見舞われた頃にスタートしました。各事業所から選出されたメンバーが中心となり、力を合わせて編集作業を行っています。

この2年間はコロナの影響で画面越しでの編集会議でしたが、「紙面」で発信する「情報」に想いを込めて企画を練り上げ、担当ページの編集に取り掛かります。時間と労力がかかる編集作業ですが、紙面が完成した時の喜びは大きいものです。この編集作業は先輩職員の方々の七野会や仕事に対するアツイ想いに触れることができて、私にとって貴重な学びの場でした。ごでの経験をこれからのお役にいかしていきたいと思えます。(一)

京都府研修指定 <8介第91号> <9介第58号>

七野会実務者研修受講生募集中!

京都府実務者研修受講資金貸付制度が利用できます

2023年度 <自宅学習 + スクーリング8日間>

- 5月コース：2023年5月1日～10月31日 (スクーリング会場：サテライト今宮)
- 7月コース：2023年7月1日～12月31日 (スクーリング会場：原谷こぶしの里)

募集人数：各コース20名 (資格や実務経験は問いません)

- ☆いずれのコースも、実務経験の規定を満たす場合は、2024年1月の国家試験受験が可能です
- ☆スクーリング日程、費用につきましては直接お問い合わせください
- ☆本研修は介護実務経験がなくても受講することができます (国家試験受験には3年の実務経験が必要です)
- ☆経験豊かな講師がわかりやすく、丁寧に指導いたします
- ☆国家試験受験のためのフォローアップ講座も実施します
- ☆感染対策をしっかり行います

お申込み、お問い合わせはこちらまで!

『その人らしく暮らし続けることを大切に...』

社会福祉法人 七野会

〒603-8488 京都市北区大北山長谷町5-36

TEL. 075-466-5095 FAX. 075-467-8477

mail: jitumusha@nananokai.com

実務者研修担当：山村・斎藤



事業所一覧

- | | | | |
|----------------------|----------|-----------------------|--------------|
| ● 特別養護老人ホーム・原谷こぶしの里 | 463-4888 | ● 生活支援総合センター 姉小路 | 257-3867 |
| ● 居宅介護支援事業所 | 463-1675 | ● 在宅ケアセンター 新大宮 | 492-3979 |
| ● 老人短期入所施設 | 463-4569 | ● 生活支援総合センター 美山こぶしの里 | 0771-76-9027 |
| ● デイサービスセンター | 463-7664 | ● こぶしの里サテライト今宮 | 494-2870 |
| ● ケアハウス・リブル北山 | 463-4100 | ● 生活支援センター 金閣こぶしの里 | 466-2273 |
| ● グループホーム・はつね | 494-3022 | ● 生活支援総合センター 聚楽 | 415-7575 |
| ● はつねデイサービスセンター | 494-3033 | ● 京都市原谷地域包括支援センター | 463-1686 |
| ● 堀川こぶしの里デイサービスセンター | 417-4410 | ● デイサービスセンター 北山杉いこいの家 | 406-4555 |
| ● 介護老人保健施設・ライブリキきぬかけ | 466-5066 | | |